

「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」について

【研究区分及び研究課題】

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究

「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」

(研究代表者：あいち小児保健医療総合センター保健センター 山崎嘉久)

【研究期間】

平成 24 年度～平成 26 年度

【目的】

乳幼児の健康診査（以下、健診）の実施状況及び妊娠期から乳幼児期の保健指導に関する実態ならびに乳幼児健診に対する都道府県の状況を把握することから、乳幼児健診の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方について検討すること。また、各自治体の実情や先進事例の評価を踏まえ、手引き等にまとめ、具体的な方向性を示すこと。

---

<分担研究>

「栄養学から見た妊婦・乳幼児健診における母子保健指導のモデル開発に関する研究」(分担研究者：国立保健医療科学院 石川みどり)

<目的>

乳幼児の栄養指導と評価方法、市区町村及び都道府県の役割分担について、各自治体の実情を踏まえ、手引き書等にまとめ具体的な方向性を示すこと。そこで、全国市区町村が実施している妊娠期、乳幼児期の健診における栄養担当者の関わり及び栄養に係る保健指導の状況を明らかにすること。